

# 1 議 事 日 程

[令和2年太宰府市議会 予算特別委員会]

令和2年2月26日

午前 11 時 30 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第18号 令和2年度太宰府市一般会計予算について  
日程第2 議案第19号 令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について  
日程第3 議案第20号 令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について  
日程第4 議案第21号 令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について  
日程第5 議案第22号 令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について  
日程第6 議案第23号 令和2年度太宰府市水道事業会計予算について  
日程第7 議案第24号 令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について

## 2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	上	疆	議員
委員	柳原莊一郎	議員	委員	宮原伸一		議員
”	船越隆之	議員	”	徳永洋介		議員
”	笠利毅	議員	”	堺		剛 議員
”	入江寿	議員	”	木村彰人		議員
”	小島真由美	議員	”	原田久美子		議員
”	神武綾	議員	”	長谷川公成		議員
”	藤井雅之	議員	”	橋本健		議員
”	村山弘行	議員	”	陶山良尚		議員

## 3 欠席委員は次のとおりである

なし

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（20名）

市長	楠田大蔵	副市長	清水圭輔
教育長	樋田京子	総務部長	石田宏二
総務部理事	山浦剛志	総務部理事	五味俊太郎
市民生活部長	濱本泰裕	都市整備部長	井浦真須己
観光経済部長	藤田彰	健康福祉部長	友田浩
教育部長	江口尋信	総務課長併 選挙管理委員会書記長	川谷豊
経営企画課長	高原清	人権政策課長兼 人権センター所長	行武佐江
国保年金課長	高原寿子	高齢者支援課長	川崎純一
都市計画課長	竹崎雄一郎	上下水道課長	佐藤政吾
観光推進課長兼 地域活性化複合施設太宰府館長	友添浩一	監査委員事務局長	福嶋浩

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会議務局長 阿部宏亮 議事課長 吉開恭一  
書記 岡本和大

開会 午前11時30分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は、議案第18号から議案第24号までについて各会計の概要説明とし、委員からの質疑は3月13日、16日及び17日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第18号 令和2年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（門田直樹委員） それでは、日程第1、議案第18号「令和2年度太宰府市一般会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（石田宏二） それでは、議案第18号「令和2年度太宰府市一般会計予算」につきまして、既にお配りをいたしておりますこちらの当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。予算説明資料のご用意方よろしくお願いたします。

それでは、まず1ページをお開きください。

ここに予算総括表と、下段に平成28年度から5年間の当初予算額の推移をグラフとして載せております。

一番上の一般会計、網かけの部分でございますが、令和2年度の一般会計予算総額は250億3,362万円となっております。前年度予算と比較いたしますと6億739万円の増額、率でいいますと2.5%の増となっております。

これ以下は、特別会計となっておりますので、後ほど各担当部長からご説明をさせていただきます。

次に、2ページに歳入の款別内訳を載せております。

2ページをお願いいたします。

まず、1款市税でございますが、市税全体といたしましては総額84億1,683万7,000円を計上しており、前年度と比較いたしますと1億2,447万8,000円、1.5%の増となっております。

市税の内訳につきましては3ページに載せておりますが、個人市民税で前年度に比べ4,403万3,000円、1.2%の増、固定資産税で前年度に比べ7,016万2,000円、2.2%の増を見込んでおります。

一方で、クルーズ船の寄港も減少していることから、歴史と文化の環境税は800万円、9.4%の減を見込んでおります。

2ページに戻っていただきまして、6款法人事業税交付金でございます。令和元年度の税制改正に伴いまして新たに創設されました法人事業税交付金につきましては、1,800万円を見込んでおります。

次に、7款地方消費税交付金でございます。地方消費税交付金につきましては、昨年10月に

消費税率が改正されたことにより、国の地方財政対策をもとに算定しておりますが、前年度と比較し2億4,900万円、20.2%の増を見込んでおります。

次に、11款地方交付税でございますが、地方交付税につきましても、地方財政対策を勘案いたしまして算定いたしておりますが、令和2年度の地方財政対策では、地方交付税全体として前年度比2.5%の増とされており、令和元年度の決算見込み額をもとに算出した結果、地方交付税全体として2億600万円、5.4%の増で見込んでいます。

次に、13款分担金及び負担金でございますが、前年度から6,881万9,000円、11.4%の減となっております。これは幼児教育無償化に伴い、3歳以上の保育所保育料等が減少したことが主な要因となっております。

次に、15款国庫支出金、16款県支出金でございますが、幼児教育無償化の影響が主な要因となっており、それぞれ国庫支出金で8,604万9,000円、1.7%、県支出金で3億1,110万3,000円、17.0%の増となっております。

次に、18款寄附金でございますが、ふるさと太宰府応援寄附の充実を図ったことや、新元号令和のご縁もありまして、令和元年度決算見込みを勘案した結果、1億8,000万円、148.8%の増となっております。

次に、22款市債でございますが、前年度から4億8,890万円、26.0%の減となっております。これは、前年度太宰府西中学校の外壁防水改修工事や太宰府東中学校のトイレ改修工事で借り入れをしていた市債が減少したことなどが主な要因となっております。

続きまして、4ページには、ただいまご説明を申し上げました数字を自主財源、依存財源に分けてその内訳を示しております。

自主財源につきましては、分担金及び負担金、基金からの繰入金は減となりましたが、市税や寄附金の増などに伴い、前年度から2億6,283万8,000円の増となっております。

また、依存財源につきましては、各種交付金や市債が減となったものの、地方消費税交付金や地方交付税、国庫支出金や県支出金が増となったことにより、前年度から3億4,455万2,000円の増となっております。

次に、歳出の説明をさせていただきます。

5ページをお願いいたします。

5ページには、歳出の目的別内訳を載せております。前年度比較で増減額の大きなものをご説明をいたします。

総務費につきましては、寄附金の増額に伴うふるさと納税関連業務委託料や庁舎等改修工事費が増となったことなどから、2億5,046万8,000円、9.5%の増となっております。

次に、民生費につきましては、幼児教育無償化に伴う施設等利用給付費や教育・保育給付費などの増や国分小学校に学童保育所を新築するための費用が増となったこと、また障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費などの扶助費が増したことによりまして8億4,427万3,000円、7.9%の増となっております。

次に、衛生費につきましては、人件費や燃料費の高騰の影響もあり、じんかい収集運搬委託料が増えたことや、予防接種個別接種委託料が増えたことなどから、5,682万2,000円、3.2%の増となっております。

次に、商工費につきましては、中小企業融資資金預託金を5,000万円増としたことなどから、4,949万9,000円、17.7%の増となっております。

次に、土木費につきましては、国の社会資本整備総合交付金を活用した費用が減となったことなどから、3億4,996万4,000円、20.0%の減となっております。

次に、教育費につきましては、太宰府西中の外壁防水改修工事や太宰府東中トイレ改修工事が完了したことなどから、2億9,570万8,000円、8.8%の減となっております。

6ページをお願いいたします。

6ページには、歳出の性質別内訳を載せております。

一番上が義務的経費となります。このうち人件費については、会計年度任用職員制度への移行に伴う給与費などの増により、6億555万3,000円、19.3%の増となっております。

また、扶助費につきましても、幼児教育無償化に伴う施設等利用給付費や教育・保育給付費などの増や、障がい福祉サービス利用者の増加に伴う介護・訓練等給付費などの増により、6億8,899万6,000円、10.1%の増となっております。

次に、消費的経費でございますが、物件費につきましては、臨時嘱託職員の賃金が人件費の会計年度任用職員給与として取り扱いが変更となりまして減となりましたが、開発等により原因者が負担する埋蔵文化財発掘調査費負担金が増加したことや、ふるさと納税関連業務委託料の増などにより、1億4,098万5,000円、3.6%の増となっております。

また、補助費等につきましては、幼児教育無償化により幼稚園就園奨励費補助金が減となったことなどから、9,894万1,000円、3.6%の減となっております。

次に、投資的経費でございますが、普通建設事業費につきましては、国の社会資本整備総合交付金を活用した費用が減となったことや、小・中学校の改修工事などが完了したことなどから、9億6,356万3,000円、40.1%の減となっております。

最後に、その他のところになりますが、繰出金につきましては、介護保険事業特別会計や国民健康保険事業特別会計への繰出金などが増となったことから、1億8,371万1,000円、7.5%の増、投資及び出資金、貸付金については、中小企業融資資金預託金が増となったことなどから、3,403万3,000円、25.9%の増となっております。

簡単でございますが、歳出については以上でございます。

なお、これ以降7ページから15ページまでは、施政方針に掲げた7つのプラン及びその他第五次総合計画に基づく事業別の主な事業について、その事業内容等を掲載しておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、私のほうからのご説明とさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第19号 令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第2、議案第19号「令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（濱本泰裕） 議案第19号「令和2年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、令和2年度予算書の211ページから249ページでございます。

予算書の211ページをお願いいたします。

初めに、歳入歳出予算総額は72億413万7,000円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと923万8,000円、率にいたしますと0.1%の減となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明をさせていただきます。

予算書の215ページをお願いいたします。

歳入の主なものについてご説明申し上げます。

1款国民健康保険税につきましては、県から提示されました本算定の標準保険税率により試算しておりまして、前年度比8,190万7,000円、率にいたしますと6.0%増の14億4,414万6,000円を計上しております。

2款県支出金につきましては、保険給付費の減に伴う普通交付金の減などによりまして、前年度比1億2,038万6,000円、率にいたしますと2.3%減の50億1,741万3,000円を計上しております。

次に、4款繰入金につきましては、保険基盤安定制度繰入金や職員給与費等繰入金、財政安定化支援事業繰入金などがございますが、前年度比2,938万7,000円、率にいたしますと4.2%増の7億2,810万8,000円を計上しております。

次に216ページ、217ページをお願いいたします。

歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

歳出の約7割を占めております2款保険給付費につきましては、被保険者数の減などから、前年度比1億4,534万4,000円、率にいたしますと2.8%減の49億6,311万円を計上しております。

3款国民健康保険事業費納付金につきましては、県から提示されました額といたしまして、前年度比1億2,349万7,000円、率にいたしますと6.6%増の19億8,802万2,000円を計上しております。

5款保健事業費につきましては、特定健診に要する費用のほか、医療費適正化に関する費用など、前年度比694万3,000円、率にいたしますと8.3%増の9,023万2,000円を計上しております。

す。

説明は以上です。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 議案第20号 令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第3、議案第20号「令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（濱本泰裕） 議案第20号「令和2年度太宰府市後期高齢者医療特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書につきましては、令和2年度予算書の251ページから266ページでございます。

予算書の251ページをお願いいたします。

初めに、歳入歳出予算総額は12億7,005万円となりまして、前年度当初予算と比較いたしますと397万8,000円、率にいたしますと0.3%の増となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明をさせていただきます。

予算書の254ページ、255ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1款保険料につきましては、前年度比528万7,000円、率にいたしますと0.5%減の10億4,504万3,000円を計上しております。

3款繰入金につきましては、当該特別会計の事務費、広域連合の事務費負担金及び被保険者に適用されます保険料軽減額を保険基盤安定制度繰入金といたしまして一般会計から繰り入れるものでございまして、前年度比926万5,000円、率にいたしますと4.3%増の2億2,499万9,000円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

歳出のほとんどを占めております1款総務費につきましては、後期高齢者医療広域連合負担金の増額などによりまして、前年度比397万8,000円、率にいたしますと0.3%増の12億6,595万円を計上しております。

説明は以上です。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第4 議案第21号 令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第4、議案第21号「令和2年度太宰府市介護保険事業特別

会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（友田 浩） それでは、議案第21号「令和2年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

説明につきましては、予算書で行わせていただきます。令和2年度予算書の267ページから329ページでございます。

予算書の267ページをお願いいたします。

初めに、保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、第1条第1項に記載のとおり53億6,157万8,000円で、前年度当初予算と比較いたしますと2億1,472万8,000円、率にいたしますと4.2%の増となっております。

また、介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、第1条第3項に記載のとおり、6,688万9,000円で、前年度当初予算と比較いたしますと1,490万1,000円、率にいたしますと28.7%の増となっております。

次に、273ページをお願いいたします。

歳入歳出予算事項別明細書でご説明をさせていただきます。

まず、保険事業勘定の予算でございます。

歳入の主なものについてご説明をいたします。

1款の保険料につきましては、65歳以上の第1号被保険者保険料でございますが、前年度比595万7,000円、率にいたしますと0.5%減の12億4,972万8,000円を計上いたしております。

次に、3款国庫支出金でございますが、前年度比6,017万2,000円、率にいたしますと5.8%増の10億9,849万6,000円を計上いたしております。

次に、4款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料からの介護給付費交付金が主なものでございまして、前年度比3,864万3,000円、率にいたしますと2.9%増の13億4,884万1,000円を計上いたしております。

次に、7款繰入金につきましては、前年度比1億1,834万1,000円、率にいたしますと14.6%増の9億2,659万8,000円を計上いたしております。

次に、歳出の主なものについてご説明申し上げます。

274ページをお願いいたします。

1款総務費には、職員給与費及び介護保険システム改修委託料など2億3,201万3,000円を計上いたしております。増額の主な要因といたしましては、会計年度任用職員制度開始に伴う人件費の増及び地域包括支援センターのサブセンター開設に伴う職員給与費の増、また令和3年度の介護保険法改正に向けた介護保険システム改修委託料などとなっております。

次に、2款保険給付費は、歳出全体の約90%を占めており、前年度比1億4,834万4,000円、率にいたしますと3.2%増の48億1,750万5,000円を計上しております。この増額の主な要因と



いたしましては、令和元年10月の消費税率引き上げに伴います介護報酬の増及び平成30年8月に開設いたしました広域型特別養護老人ホーム、令和元年5月に開設しました地域密着型特別養護老人ホームの施設利用者の増などを勘案したことによるものでございます。

次に、3款地域支援事業費は、前年度比175万5,000円、率にいたしますと0.6%減の2億9,410万9,000円を計上しております。

続きまして、323ページをお願いします。

介護サービス事業勘定の予算でございます。

歳入の主なものとしましては、1款サービス収入につきましては、ケアプラン作成に対する福岡県国民健康保険団体連合会からの介護予防サービス計画費収入といたしまして、前年度比590万1,000円、率にいたしますと16%増の4,288万8,000円を計上しております。

次に、2款繰入金1,400万円につきましては、歳出に対する歳入の不足分を保険事業勘定から繰り入れて補うためのものでございます。

次に、324ページをお願いいたします。

歳出では、1款総務費にケアマネージャーの会計年度任用職員人件費等といたしまして、前年度比1,530万1,000円、率にいたしますと29.7%増の6,678万8,000円を計上しております。

以上が令和2年度介護保険事業特別会計予算の主な内容でございます。

今後も介護保険制度の利用者の自立支援はもとより、給付費の適正化に努め、介護保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第22号 令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第5、議案第22号「令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（濱本泰裕） 議案第22号「令和2年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明を申し上げます。

予算書につきましては、令和2年度予算書の331ページから341ページでございます。

予算書の331ページをお願いいたします。

初めに、歳入歳出予算総額は35万4,000円となり、前年度当初予算と比較しますと4万1,000円、率にいたしますと10.4%の減となっております。

それでは、歳入歳出予算事項別明細書で概要説明をさせていただきます。

予算書の334ページ、335ページをお願いいたします。

歳入の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款財産収入につきましては、基金の利子でございますが、前年度比 6 万 5,000 円減の 6 万 7,000 円を計上しております。

2 款繰入金につきましては、弁護士委託料等に係る一般会計からの繰入金でございますが、前年度比 2 万 4,000 円増の 27 万 8,000 円を計上しております。

次に、歳出の主なものにつきましてご説明申し上げます。

1 款総務費につきましては、前年度比 2 万 4,000 円増の 27 万 8,000 円を計上しており、2 款基金積立金につきましては、前年度比 6 万 5,000 円減の 7 万 6,000 円を計上しております。

なお、貸付金の償還向上につきましては、今後も個別の現状把握に努め、精力的に家庭訪問を行うなど、償還の促進と県との連絡調整や契約弁護士と相談を行いながら滞納者対策を図ってまいります。

説明は以上です。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第 6 議案第 23 号 令和 2 年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第 6、議案第 23 号「令和 2 年度太宰府市水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（井浦真須己） 議案第 23 号「令和 2 年度太宰府市水道事業会計予算について」ご説明を申し上げます。

水道事業会計の予算書は水色の分になりますので、ご準備をよろしくお願いいたします。

まず 1 ページをお願いいたします。

令和 2 年度におきましては、給水戸数 2 万 6,103 戸、年間総給水量 559 万 6,180<sup>m</sup>、1 日平均給水量 1 万 5,332<sup>m</sup>を予定しております。

第 3 条の収益的収入及び支出におきましては、収入を 14 億 2,045 万 3,000 円、支出を 12 億 8,493 万 4,000 円としております。

第 4 条の資本的収入及び支出におきましては、収入を 3,234 万 2,000 円、支出を 5 億 4,471 万 4,000 円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明いたします。

4 ページをお願いいたします。

1 款 1 項 1 目の給水収益につきましては、有収水量の伸び悩みなどで、前年度に比べ 0.3% 減の 12 億 1,660 万 8,000 円を予定しております。

次に、2 項 2 目の加入負担金につきましては、水道加入件数の減により、前年度に比べ 35.2% 減の 3,608 万円を予定しております。

次に、3目の長期前受金戻入でございますが、前年度と比べ3.1%減の1億4,871万5,000円を計上しております。

次に、5ページをお願いいたします。

1款1項1目の原水及び浄水費につきましては、ほぼ前年度並みの6億7,161万9,000円としております。

2目の配水及び給水費の増につきましては、修繕費の増などが主な要因となっております。

6ページをお願いいたします。

3目業務費につきましては、令和元年度予算では、新元号に伴うシステム保守委託料などの増加がございましたが、その分令和2年度予算では減となっております。

4目総係費につきましては、人件費の減を主な要因とした減となっております。

7ページをお願いいたします。

7ページの5目の減価償却費は、ほぼ前年度並みの3億7,828万4,000円となっております。

次に、2項1目の支払利息及び企業債取扱諸費が241万9,000円減少しております。これは、支払い利息の支払いがピークを過ぎたことによるものでございます。

次に、9ページの資本的収入でございますが、1款1項1目の水道施設整備国庫補助金において、生活基盤施設耐震化等交付金を活用いたしまして、五条から梅香苑、太宰府南小学校間の管路整備に1,380万円を計上しております。

2項1目の出資金につきましては、国の繰り出し基準に基づき、一般会計から繰り入れを行うもので、令和2年度は1,240万円の減となっております。

次に、10ページをお願いいたします。

資本的支出の2目浄水施設費でございますが、松川浄水場の耐震化工事の実施設計などによる委託料の増により、411万9,000円の増となっております。

3目配水施設費でございますが、令和元年度でつつじヶ丘の高所配水池の耐震工事が終了いたしましたして、2,515万9,000円の減となっております。

4目小規模生活ダム事業費につきましては、福岡県が実施します県営北谷ダム堰堤改良工事に対しまして、その3%を負担するものでございます。

以上、資本的支出につきましてご説明申し上げましたが、水道事業施設管路中・長期実施計画に基づき、令和2年度当初予算におきましては、松川浄水場耐震化工事の実施設計や五条から太宰府南小学校の基幹管路の整備・老朽管の布設がえなどを予定しているところでございます。

12ページ以降につきましては、財務諸表などを添付いたしております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いを申し上げます。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第24号 令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（門田直樹委員） 次に、日程第7、議案第24号「令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（井浦真須己） 議案第24号「令和2年度太宰府市下水道事業会計予算について」ご説明申し上げます。

下水道事業会計の予算書は黄色の表紙になりますので、よろしくお願ひいたします。

1ページをお願ひいたします。

第2条に業務の予定量を記載しております。令和2年度におきましては、排水戸数3万382戸、年間総排水量696万2,375m<sup>3</sup>、1日平均排水量1万9,075m<sup>3</sup>を予定しております。

第3条の収益的収入及び支出におきましては、収入を18億5,918万1,000円、支出を14億3,367万2,000円としております。

第4条の資本的収入及び支出におきましては、収入を3億2,444万7,000円、支出を9億6,977万7,000円としております。

次に、具体的な収支事項をご説明いたします。

4ページをお願ひいたします。

1款1項1目の下水道使用料につきましては、有収水量の減により、1%減の11億8,148万5,000円としております。

2目の他会計負担金につきましては、国の繰り出し基準に基づく一般会計からの繰入金でございます。

次に、2項3目の長期前受金戻入につきましては、今年度は2億8,025万7,000円を計上しております。

5ページをお願ひいたします。

収益的支出でございますが、まず1目の管渠費の増は修繕費の増などによるものでございます。

2目の流域下水道維持管理費でございますが、前年度並みの4億1,813万5,000円を計上いたしております。

4目総係費では、人件費の増などにより1,796万9,000円の増となっております。

続きまして、7ページをお願ひいたします。

7ページの5目減価償却費につきましては、前年度並みの7億1,545万8,000円となっております。

2項の営業外費用でございますが、1目の支払利息及び企業債取扱諸費は、前年度と比較いたしまして1,442万4,000円の減となっており、今後も減少していく見込みでございます。

8ページをお願ひいたします。

資本的収入でございますが、総額は3億2,444万7,000円となり、前年度に比べ6,301万

6,000円の減となっております。これは、建設改良費の減による企業債収入の減などが主な要因となっております。

次に、9ページをお願いいたします。

資本的支出の1目の公共下水道整備費につきましては、長寿命化を目的としたカメラ調査業務委託を実施するほか、都府楼団地の下水道管の長寿命化工事などを予定しております。

概要の説明は以上でございますが、11ページ以降に財務諸表などを添付いたしております。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（門田直樹委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については、3月13日及び3月16日の予算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 本日はこれもちまして散会します。

散会 午後0時05分

~~~~~ ○ ~~~~~